

様式1 令和元年度 山梨県立巨摩学校定時制評価報告書(自己評価・学校関係者評価)

| | |
|-----------|-----------------------------|
| 学校目標・経営方針 | 健康で、明るく、思いやりのある心の温かい生徒を育成する |
|-----------|-----------------------------|

山梨県立巨摩高等学校校長 横森 伸司

| | |
|----------|--|
| 本年度の重点目標 | 1 学ぶ意欲を育てるように授業を工夫し、基礎学力を身につけさせる。 |
| | 2 キャリア教育を充実させ、個に応じた進路指導を展開する。 |
| | 3 多種多様な体験学習を展開して、生徒の生きる力やコミュニケーション能力を育成する。 |
| | 4 保護者、地域に積極的に学校情報を発信し、理解を得る。 |

| | |
|-----|-------------------|
| 達成度 | A ほぼ達成できた。(8割以上) |
| | B 概ね達成できた。(6割以上) |
| | C 不十分である。(4割以上) |
| | D 達成できなかった。(4割以下) |

| | |
|----|--------------|
| 評価 | 4 良くできている。 |
| | 3 できている。 |
| | 2 あまりできていない。 |
| | 1 できていない。 |

| 自己評価 | | | |
|----------|--|---|---------------------|
| 本年度の重点目標 | | | 年度末評価(3月20日現在) |
| 番号 | 評価項目 | 具体的方策 | 方策の評価指標 |
| 1 | 学ぶ意欲を育てるように授業を工夫し、基礎学力を身につけさせる。 | 授業方法を工夫することにより、各自の授業力向上や授業改善に努める。 | 相互授業参観 |
| | | 授業改善につながるよう生徒向け授業アンケートを工夫し、実施する。 | 授業アンケートの実施 |
| | | 生活体験文や生徒会誌「青雲」の作成に全校体制で取り組み、生徒の国語力を向上させる。 | 校内生活体験文発表会、生徒会誌「青雲」 |
| 2 | キャリア教育を充実させ、個に応じた進路指導を展開する。 | 進路希望別にハローワーク、専門学校、大学等を訪問する機会を設け、進路意識の向上をはかる。 | 生徒アンケート |
| | | 進路ガイダンスや進路講話、職業体験、企業見学等を実施する。 | 生徒アンケートまたは感想文 |
| | | ハローワークと連携した作文・面接指導を実施すると同時に、個別の指導体制を確立し、進路実現をはかる。 | 就職・推薦入試実績 |
| 3 | 多種多様な体験学習を展開して、生徒の生きる力やコミュニケーション能力を育成する。 | 総体・教育祭等の校外行事、生徒会行事、社会体験などを通じて、豊かな社会性、人間性の醸成に努める。 | 生徒アンケートまたは感想文 |
| | | 地域の芸術・伝統文化に親しむ機会を設ける。 | 生徒アンケートまたは感想文 |
| | | 挨拶運動等を通し良好な人間関係構築のためのコミュニケーション能力を身に付ける。 | 生徒アンケート |
| 4 | 保護者、地域に積極的に学校情報を発信し、理解を得る。 | 進路講話や学園祭など保護者の学校参加の機会を設け、学校理解に生かしていく。 | 保護者アンケートの実施 |
| | | 学園祭等を地域・保護者への公開の場として活用し、生徒の取り組みの様子を伝えていく。 | 保護者アンケートの実施 |
| | | ホームページ及び学校通信を充実させ、内容の濃い、より良い情報を発信する。 | 通信の発行やホームページの更新 |
| 5 | | | |
| 6 | | | |
| 7 | | | |

| 学校関係者評価 | |
|----------------|--|
| 実施日(令和2年2月12日) | |
| 評価 | 意見・要望等 |
| 3 | ・保護者アンケートから、10項目中8項目にわたって8割以上の保護者が定時制の教育活動を肯定的にとらえており、これからも自信をもって取り組んでいただきたい。 ・学習については、個々に対応していることが分かってよかった。どの項目も保護者の理解が得られている。 ・先生方の工夫、努力に保護者が感謝していることが窺われる。 |
| 3 | ・福祉や技能面の資格が取れるようにしてもらいたい。 ・様々なモノを背負って定時制に進学した生徒も、自己の確立、人間関係形成能力、社会への眼、連帯の大切さなど、きめ細やかに指導していることに敬意を表します。 |
| 4 | ・生徒はものづくりや発表といった自ら行動することにやりがいや自己の成長を感じている。今後も創意工夫を重ねていただきたい。 ・生徒の文章を読み、苦勞を抱えながら前向きに学校生活を送り、仕事を通して成長する姿が伝わりました。相当充実した成長を実感しているのだと思います。 ・生徒の気持ちに寄り添って支援している様子がわかりました。充実した学校生活が社会に向かう力になっていると思いました。 |
| 3 | ・生徒アンケートから、ブログなどは生徒の半数も閲覧してはいるが、保護者は多く閲覧している。子供の情報を得る手段として活用されており、教職員の努力が報われている。 |
| | |
| | |
| | |

留意点 (1)重点目標と評価項目については、各学校の現状と課題に基づき、実情に合わせて重点化し、設定する。
(2)学校関係者評価については、年度当初に今年度の重点目標の現状と具体的対策を説明し、評価に必要な情報提供を計画的に行う。学校関係者評価実施日とは、最終回の学校評価委員会等を開催し、学校自己評価を踏まえて評価を受けた日とする。